

和歌山病院での実習を終えて



酒井 亮太

今回、和歌山県立医科大学の第三内科の臨床実習の一環として、2日間和歌山病院で実習させていただきました。

初日は結核について教えていただき、和歌山県唯一の結核病棟を見学させていただいた後、南方病院長にレントゲン写真の見方を教えていただきました。今まで苦手意識のあったレントゲン写真の読影ですが、南方先生の丁寧かつ親切かつユーモアに富んだ講義のおかげで少し読めるようになり、自分でさらに勉強しようという意欲が湧いてきました。夕方には人工呼吸器の講義をしていただき、見たことはあっても触ったことはなかった人工呼吸器を実際に触らせていただきました。また夜には南方病院長を囲んだ食事会を開いてくださり、普段聞けないような御話をおいしい御飯をいただきながら聞かせていただきとても楽しかったです。2日目も結核についての講義をしていただいた後、シルエットサインについて講義していただきました。全員起立して行うという講義らしからぬ講義でしたが、今まで受けた講義のなかで一番面白く、ためになったなと思える講義でした。

2日間とは思えないほど密度の濃い実習を行えることが出来たのは、南方病院長、駿田副病院長をはじめとする和歌山病院のスタッフの方々の御協力のおかげです。本当に有難う御座いました。